▲小宮地地区振興会が仕切網漁体験の取り組みを紹介

特色あるまちづくりを紹介

～日本の宝島“天草”づくり発表会～

３月22日、「日本の宝島“天草”づくり発表会」が天草市民センターで開催され、各地区振興会の役員など約200人が参加しました。発表会では、「宝島づくりに向けた地域資源の活用法」をテーマにしたパネルディスカッションが行われたほか、本渡・五和まちづくり協議会などが、平成19年度のまちづくりモデル支援事業に採択された取り組みを事例発表。このほか、地域資源を発信するために29の地区振興会が作った「天草宝島マップ」が展示されました。

▲宮地岳保育園の園児が太鼓演奏を披露！

菜の花を利用して地球環境の保全を！

～天草菜の花まつり～

「天草菜の花まつり」が３月30日、宮地岳町公民館一帯で開催されました。これは、市の“菜の花プロジェクト事業”のPRをはじめ、環境保全について考えてもらおうと、市や宮地岳の地区振興会･営農組合などが初めて開いたもの。当日はあいにくの雨となりましたが、資源循環型社会を目ざした市の取り組みなどをチラシやパネルで紹介したほか、保育園児による太鼓の演奏や、菜種油で揚げた“ガネあげ”などのバザーもあり、多くの人出でにぎわいました。

▲戦没者の慰霊と平和を願い献花

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和願う

～天草戦没者追悼式～

４月５日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、天草市・上天草市・苓北町の２市１町合同による「第３回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約400人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちの冥福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。

▲真新しい校旗を披露する
村端校長と６年の蛭子本拓海（えびすもと たくみ）くん

新たな一歩を踏み出す

～倉岳小学校開校式～

浦・宮田・棚底の３小学校を統合した「倉岳小学校」の開校式が４月８日、同小学校体育館で開催され、児童や教職員、地元住民など約200人が参加しました。

式典では、倉岳町浦の春木照秋さんがデザインした新しい校旗を、安田市長が村端祐之校長に授与。その後、児童を代表して６年の渡辺沙保さん、濱崎沙耶さん、高田乃有季さんが「歴史ある３校の伝統を受け継ぎ、ともに伝統を築いていきます」と決意を述べました。

▲地元の音楽愛好家らによるバンド演奏

楽器演奏を聞き、サクラを眺め春満喫！

4/5 河浦

～一町田さくらまつり～

サクラの見ごろにあわせて地域を盛り上げようと４月５日、「一町田さくらまつり」が一町田公民館で開催されました。これは、同地区の文化振興などを目的に初めて開かれたものです。同まつりでは、小・中学生のピアノ・クラリネット演奏や、地元の音楽グループによる古楽器演奏などが披露され、約80人の参加者は熱心に聞き入っていました。また、演奏終了後には、コレジヨ公園に咲く満開のサクラを楽しむなど、春のひとときを満喫していました。

▲天草地区交通安全協会から
新入学児童に黄色い傘が贈られました

ルールを守って、交通事故をなくそう！

4/6 有明

～春の全国交通安全運動出発式～

４月６日、春の全国交通安全運動出発式がリップルランドで開かれ、38団体・約250人が参加しました。式典では、新入学児童に黄色い帽子や傘などが贈られたほか、交通事故を「吸い取ってなくそう」と“すいとっとダンサーズ”によるたこ踊りや、天草ありあけ太鼓の演奏などが披露されました。式典終了後には、天草警察署長の委嘱を受けて防犯活動に取り組む「ブルーレンジャー」らが青パトで出動し、市内各地で交通安全啓発パレードを実施しました。

▲倉岳山頂を目ざして歩く参加者

春の息吹を感じながら天草最高峰へ

4/6 倉岳

～倉岳ウォークラリー～

天草最高峰“倉岳”からの眺めと約300本の桜を楽しんでもらおうと４月６日、「倉岳ウォークラリー」が開催されました。当日は、市内外から約250人が参加。４月開校の倉岳小学校をスタートし、5カ所のチェックポイントでシモン芋や石の重量当てクイズなどに挑戦したり、山菜狩りなどを楽しんだりしながら、山頂までの約8.5㎞を歩きました。終了後には、山頂駐車場で大声大会やお楽しみ抽選会なども行われ、楽しいひとときを過ごしていました。

▲牛深学校給食センターの落成を祝って
テープカットが行われました

安全・安心でおいしい給食を提供

4/10 牛深

～牛深学校給食センター落成式～

牛深・魚貫の両給食センターの老朽化により統合・新設した「牛深学校給食センター」が完成し４月10日、落成式が行われました。式典では、安田市長が「より安全・安心でおいしい給食を提供できます」とあいさつ。テープカットが行われ、落成を祝いました。その後、出席者が内部を見学し、同センターで作られた給食を試食しました。同センターでは、牛深地区の８小･中学校に、約1,500食分の給食を調理･配送しています（牛深幼稚園にも５月から配送）。